

よくわかる 浄土宗のお仏壇

● 目次 ●

はじめに

1 お仏壇とは……………2

お仏壇の由来と意義……………2

お仏壇のしつらえ……………3

安置する場所と向き……………6

2 ご本尊……………7

ご本尊とは？……………7

浄土宗のご本尊は阿弥陀さま……………8

3 お位牌と過去帳……………11

お位牌は極楽往生のお相……………11

お位牌の種類……………12

お位牌の並べ方……………13

過去帳——み霊の台帳……………15

COLUMN 新規購入・買い替えの際には……………16

4 お供えもの……………17

毎日のお給仕……………17

供花……………18

お菓子・果物……………19

御霊膳……………20

5 お仏壇のお掃除……………21

おわりに——まごころを届ける場

はじめに

ご先祖さまをお祀り^{まつ}するお仏壇。どうしたらえたらいいのか、迷ったことはありませんか。人に尋ねても答えがまちまち、ということもあるでしょう。

本書では、お仏壇の由来から、ご本尊やお位牌の意義、意外と知られていないお供えものの供えかたやお掃除の方法などを解説します。

皆さまがお仏壇にまつわる疑問を解消し、心からのご供養を捧げる一助となれば幸いです。

1 お仏壇とは

お仏壇の由来と意義

お仏壇の由来は、はるか八世紀の昔、『日本書紀』に記された「諸国家毎に仏舎ぶつしやを作り、すなわち仏像及び経を置き、以て礼拝らいはい供養せよ」との、天武天皇の詔勅しやうちよくに求めることができるかとされます。つまり、一三〇〇年以上も前からお仏壇はあったことになるのです。もともと、当時、仏教はまだ庶民にまでは浸透しておらず、一般の家庭にお仏壇が普及したのは江戸時代のことといえます。

お仏壇は、寺院の本堂の莊嚴しょうごんを模して造られました。そしてその本堂は、浄土宗の寺院であれば、お経に説かれている極楽浄土をイメージして造られたものです。ですから、私たちが家庭に安置するお仏壇とは、極楽浄土を表した聖なる空間ということができなのです。

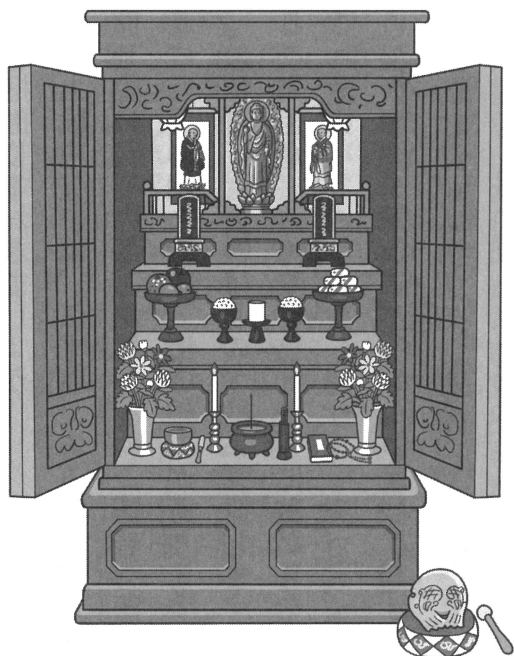
お仏壇のしつらえ

お仏壇に納めるさまざまな仏具などの詳しい説明に入る前に、まずは全体像を把握しておきましょう。

最上段中央には、ご本尊である阿弥陀仏をお祀りします。また、ご本尊と同じ段に善導大師・法然上人と、観音菩薩・勢至菩薩をお祀りします。いずれにも、彫像と絵像（掛け軸）があります。

お位牌、過去帳はその下段に安置します。これは、お浄土に往生されているご先祖が、阿弥陀さまとともに私たちを見守ってくださいている様を表しています。

このほか、身心を清らかにするためのお線香（お香）を焚く香炉、仏さまの智慧を表すロウソク（燭台）、供養のまごころを示すお花（花瓶）を用意しましょう。この三つを総称して「三具足」と呼んでいます（燭台と花瓶をそれぞれ一対ずつ配置する場合は「五具足」といいます）。



お仏壇の祀り方①(例)

お供えものを載せる高^{たか}坏^{つき}、ご飯を盛るための仏^{ぶつ}飯^{はん}器^き、お水やお茶を入れる水^{すい}器^きや茶湯器^{ちやとうき}、ご命日やお盆・お彼岸などにお供えする御霊膳^{おれいぜん}(「ごれいぜん」とも)を揃^{そろ}えたいものです。「4 お供えも」で詳しく説明します。

さらに、お線香入れやマツチ、おつとめの際に使用する鈴^{りん}と木魚、お経本などもあると、なおよいでしょう。